

## 中国が”北斗システム” 搭載武器の輸出を推進

漢和防務評論 20170705 (抄訳)

阿部信行

(訳者コメント)

中国は中国独自の衛星航法システム（”北斗”システム）を構築し、それを利用した精密誘導兵器の輸出を推進しようとしています。

今まで中国は、輸出用の精密誘導兵器として GPS 利用の誘導爆弾を輸出していましたが、今後”北斗”の受信局を海外（パキスタン等）に建設することによって輸出用精密誘導兵器を GPS 利用から順次”北斗”（民用版）利用に切り替えていく狙いがあるようです。

中国陸軍の現用精密誘導兵器は GPS を利用せず、慣性誘導のみなので命中精度は低いようです。今後逐次”北斗”（軍用版）利用に切り換えられるようです。

**KDR 平可夫アブダビ特電：**

中国は、”北斗システム”を搭載する武器の輸出を大々的に推進している。”北斗システム”の設計者は KDR に対し「現在輸出しているのは主として”北斗”の民用型であり、パキスタンを含め、外国での”北斗”受信施設建設を大幅に増やしている。現在は民用型の”北斗”しか利用できないが、CEP は 20 メートル以内に収めることができる。軍用型の”北斗”は中国軍だけに提供され、定位精度は 2 センチメートル以内である」と述べた。

中国軍内部の消息筋は次のように述べた。「”北斗”の中段武器誘導システムのテストは現在進行中である。現役の弾道ミサイル、ロケット砲に”北斗”の中段誘導システムを取付けることは難しくない。”北斗”の受信モジュールを取付けるだけで良い」と。

中国ロケット軍の若干の種類短距離弾道ミサイルが”北斗”誘導システムを取付けるテストを行っているのを KDR は知っているが、実戦運用には未だ投入されていない。

輸出部門に関しては、現在 155 ミリ榴弾砲砲弾に中段”北斗”システムを採用することが決まっており、すでに専用の砲弾が開発され、テストも終了している。北方工業会社が今回 PLZ52 自走榴弾砲と一緒に推奨していたのは GP155G とも称する。設計師は、KDR に対し：次の段階の”北斗”システムは、”北斗精密打撃”システムである、と述べた。現在外国に輸出している民用型”北斗”システムの搭載武器には、各種ロケット弾、榴弾砲弾、航空爆弾がある。これらの武器の売り込みは NORINCO（中国北方工業公司）が担当している。今後 NORINCO が売り出す多くの火砲系統、地对地ミサイル系統は、まず最初に”北斗”の中段誘導技術を利用する、と KDR は推測している。輸出型の AR-1、2、3 シリーズのロケット砲は最も早く GPS を採用していた。中国陸軍用の武器は GPS を装備しない。したがって消息筋は、「現在慣性誘導に依存している 03/AR2 ロケットは命中精度が高くない。今後 AR3/16 型ロケット砲の砲兵旅団への配備

が開始され、”北斗”システムの中段誘導技術が装備されると、命中精度は高まる」と述べた。03型多連装ロケット砲の主要配備場所は、台湾海峡、チベット地区であるが数は多くない。

このほか、各種航空爆弾、ミサイルに対する”北斗”誘導システムの装備のスピードは速まるであろう。なぜなら中国が輸出する各種武器の中で、最も多くGPSを装備しているのは航空爆弾であるからだ。例えば今回のIDEX（アラブ首長国連邦で行われた武器見本市）において、長征公司是各種GPS誘導爆弾を展示した。例えば重量130KG、串型翼採用、射程90乃至130KM、中段はGPS或いはGNASS誘導の2つの系統を有するFT-7型誘導爆弾である。設計師は：今後、全てのFTシリーズGPS誘導爆弾は”北斗”の民用版に換装される。CEPは30M以下で、試射の過程でCEPが20M以下（GPS）の記録もある。現在テスト中であるがユーザーの要望に応じて選択可能である。なぜなら現在”北斗”システムの作動覆域が限定されているからである。2018年以降、一部の中国航空爆弾は”北斗”に換装できるようになる。

しかし、KDRは、FT-7等の航空爆弾の試射の映像を見たことがない。模型を見ただけである。この種の状況下では、概念設計の段階である可能性を排除できない。多くのFTシリーズ誘導爆弾は終末誘導システムを装備している。CEPは3M以下となる。現在、スーダン及びパキスタンでGPS版のFTシリーズ誘導爆弾のライセンス生産を開始している。今後”北斗”システムがアフリカに導入されることになると、多くのアフリカ諸国空軍が中国製の衛星誘導爆弾を装備することになる。当然戦闘機に対しても、”北斗”航法システムを導入することになる。パキスタンが生産するFT3A（REKと称する）は現在、GIDSが販売し、FT-17戦闘機に搭載している。最大射程は60KMで、発射高度9000M、CEPは20Mである。そしてRS422/MIL-STD-1760インターフェースを採用している。

以下は、最新のFTシリーズ爆弾の命中精度である：

FT9 (重量 50KG)	CEP 3M
FT7 (重量 130KG)	CEP 15M
FT6A (重量 310KG)	CEP 5M
FT6 (重量 290KG)	CEP 20M
FT3A (重量 250KG)	CEP 3M
FT2 (重量 500KG)	CEP 20M
FT1 (重量 500KG)	CEP 20M

以上